

研究課題【急性白血病の同種移植前処置におけるシタラビン・エトポシド追加が予後に与える影響解析】に関する患者さんへのお知らせ

京都大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科では、日本国内で、2000年1月から2016年12月の期間に、急性白血病に対して初回の同種造血幹細胞移植を施行され、日本造血細胞移植学会 一元化登録事業 (TRUMP) データベースに登録された治療当時16歳以上であった方を対象に、前処置化学療法におけるシタラビン (商品名: キロサイド) あるいはエトポシド (商品名: ベプシド) の追加が治療成績に与える影響を解析する研究を行います。

この解析対象には、日本国内で移植治療を受けられる患者さんで、治療前に上記 TRUMP データベースへの参加に関して、主治医から説明し、書面にて参加同意をいただいた患者さんになります。情報収集する項目としては、TRUMP データベースに含まれている情報 (年齢、性別、疾患名、治療内容、治療効果、各種検査結果、合併症の有無、移植後の臨床経過) が挙げられます。すでに診療において実施された検査結果を用いるため、追加の検査はありません。患者さんから得られた検体 (血液や細胞) そのものを用いた研究は含まれません。研究成果は学会、論文にて公表を行います。データは匿名化され、個人情報保護されます。情報を本研究のために使用されたくない方は、あらかじめご連絡いただければ TRUMP データベースへの参加を取り消し、ならびに解析対象から除外いたします。このような場合でも、治療において不利益を被ることはございません。ただし、既にどなたの情報かわからないように匿名化されていて除外不可能な場合には、ご希望に添えないこともあります。

研究の主たる責任者及び連絡先は、京都大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科 近藤忠一、電話番号 075-751-3152 です。また病院にも連絡窓口を設けております。連絡先は、京都大学医学部附属病院 総務課 研究推進掛 075-751-4899 trans@kuhp.kyoto-u.ac.jp です。